

画像処理による芸術科学

Keywords 画像処理, 動画処理, 領域抽出, 画風変換, 画像修復

01 本研究の適用分野・用途

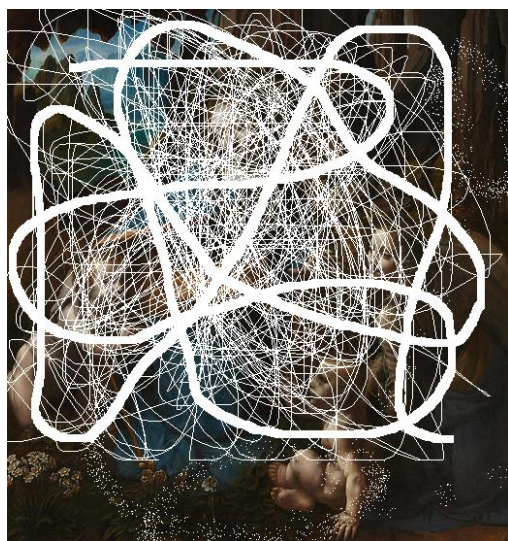
本研究ではデジタル画像化された情報のすべてが研究対象・適用対象となる。現在では、芸術分野への応用に注力している。たとえば、実写のイラスト風変換、絵画画像の仮想修復などである。

02 アピールポイント

本研究シリーズの特徴は、対象が画像または動画であるため、多くの分野と融合でき、さらに、その成果・効果を視覚情報として発信しやすい点である。また、画像処理技術の多くが成熟しているため、安定した技術を用いてニーズに対応できる。

研究概要

本研究で現在注力しているテーマの一つ『仮想修復』を紹介する。



この研究では、絵画技法、修復哲学、絵画の科学的な質感、デジタル画像処理を組み合わせることで、絵画に分布する広範囲・高密度の欠損を修復している。それによって、従来技術にはない『絵画らしさ』を追及している。



KINDAI
UNIVERSITY

近畿大学工学部
(広島キャンパス)

電子情報工学科

講師 吉田 大海 (よしだ ひろみ)

